

[様式1] 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 3165
部 名	環境保全部	課 名	公園課		課長名 大房薫
事務事業名	公園等維持管理費				
予算上の事務事業名	公園等維持管理費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	24310	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します				
基本施策名	第3節 身近な生活圏のみどり・公園の整備				事業開始年度
施 策 名	第1施策 身近な公園の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	都市公園法、相模原市都市公園条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
市民に潤いと憩い、安らぎを与えるオープンスペースとして、また地域のコミュニティ形成の場や災害時の一時避難場所等、多様な活動の拠点となる街区公園を適正かつ効果的に管理し、より一層の利用促進を図る。					一般市民
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
【17年度維持管理-対象公園数】	街区公園・・・433箇所 近隣公園・・・10箇所 緑 道・・・5箇所 (横浜水道道緑道含む) 広場公園・・・1箇所 【17年度決算額】 公園等維持管理費・・・245,040千円				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	214,740	229,542	245,040	280,948	280,948
一般財源	211,403	224,975	239,719	276,620	276,620
受益者負担金	3,337	4,567	5,321	4,328	4,328
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,010	8,070	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	222,750	237,612	253,090	288,998	288,998
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	維持管理経費			対象名称 と単位	公園面積 (㎡)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	222,750	237,612	253,090	288,998	288,998
対象数	637,700	659,900	608,900	646,400	656,100
単位あたり経費(円)	349	360	416	447	440
前年度比		1.03	1.15	1.08	0.99

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	アダプト制度対象公園に対する実施率（％）	指標式と指標の説明	アダプト実施公園／アダプト対象公園		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	87.1	84.3	85.4		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	87.1	84.3	85.4		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	1街区公園あたりの光熱水費	指標式と指標の説明	平成14年度を100として対前年比3％減を目標とする		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	104.8	103.9	97.8		
目標	97.0	94.0	91.0	88.0	85.0
目標達成度（％）	108.0	110.5	107.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			身近なオープンスペースとしての街区公園を、利用者の安全や防犯上の配慮をしつつ、住民と連携していつも良好な環境に保つ必要がある
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 アダプト団体育成のための啓発や支援。団体の意欲を高め管理面積の拡大を図る			14 課題として認識されたこと アダプト未実施公園のアダプト団体育成。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			事業所管課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しとする。
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			